学校番号	２１２

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	新編　国語総合【改訂版】　（大修館書店）						
副教材等	最新国語便覧　浜島書店 新版チャレンジ常用漢字　第一学習社						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語総合では、現代文はもちろん、古文や漢文も含め、「読む」ことを通じて今までの自分にはなかった考え方や感じ方に触れ、「新しい自分を発見する」ことを楽しむ、そういう気持ちを養うことを目標にしています。また、感じたこと、考えたことを正しく相手に伝えることを念頭において、様々な表現活動に挑戦してみましょう。
・予習として必ず本文を読み、読めない漢字や理解できない語を調べておきましょう。
・授業では集中し、やるべきことはその時間内に必ず済ませるよう心掛け、感じたこと、疑問に思ったことや説明などをメモする習慣をつけましょう。
・授業後は、漢字の読みや調べた語句の意味など正しかったか確認し、正しい日本語を身に付けるよう努めてください。

２　学習の到達目標

・（古典を含め）文章の基本的な読解力を身につける。
・種々の文章を読む中で、言語感覚を磨き、物の見方や感じ方を広め、深める。
・適切に聞き取り、理解し、自分の考えを的確に表現する力を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、知識の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、相手に伝わるように表現しようとする。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字・語彙などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 定期考査	授業での行動観察 発問評価 定期考査	授業での行動観察 記述の確認（ノート・感想文・作品の制作） 定期考査	授業での行動観察 指名音読 暗唱テスト	授業での行動観察 記述の確認(漢字テキスト) 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	感動する心	「メッセージ探しの旅」	○	○	○	○	○	a:現代社会で生きていく上でどのような考え方を身に付ければよいか考えようとしている。 b:この文章からどのようなメッセージを受け取ったか、意見交換をしている。 c: これまでの自身の経験から、どのようなメッセージを受け取ってきたか、文章にまとめている。 d:「メッセージ探しというキーワードに着目して筆者の主張を理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、自分が使いこなせる言葉の数を増やしている。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 定期考査
	日本語を考える	「人生は「動詞」で変わる」	○	○		○	○	a:タイトルやキーワードの意味を捉え、具体例をもとに展開される筆者の主張を読み取ろうとしている。 b:筆者の主張に対して自分はどう思うのかを、話し合っている。 d:本文中の「動詞」についての意味と、具体例で表されている筆者の主張の要点を理解している。 e:主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査

	小説を味わう	「羅生門」	○	○	○	○	○	a:近代小説の書かれた時代背景を把握し鑑賞しようとしている。 小説を読み、登場人物の行動や心情などを味わっている。 b:「下人」の行動原理を把握し、どのように変化していったかを理解し、発表する。 c:感想文を書いて作品鑑賞を深める。 d:描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を把握するとともに、ここに描かれている人物や状況が意味するものが何であるかを理解している。 e:文章構成における場所や時間の設定、多用されている動物の比喩などの意味するものを的確に捉えている。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査 漢字テキストの提出と小テスト
	古文に親しむ	「児のそら寝」 （宇治拾遺物語）	○			○	○	a:古文に親しみを持ち、話のおもしろさにふれる。積極的に読みすすめる心を養う。 d:話の構成、展開を把握し、人物の心情を読み味わう。 e:部分的な口語訳ができるようにする。	授業での行動観察 発問評価 指名音読 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査

		「にくきもの」 （枕草子）	○			○	○	a: 古文に親しみを持ち、話のおもしろさにふれる。積極的に読む心を養う。 d: 古代人と現代人の感じ方の共通点を実感し、同じ文化のつながりの中に生きていることを実感する。 e:部分的な口語訳ができるようになる	授業での行動観察 発問評価 暗唱 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査
	物語の世界	「筒井筒」 （伊勢物語）	○			○	○	a:歌物語を読み、古文に親しむ。 d:歌物語における和歌の役割を理解する。 e:部分的な口語訳ができるようにする。	授業での行動観察 発問評価 暗唱 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査

2学期	文化と言葉	「水の東西」	○	○	○	○	○	a:論理的文章を読み、文章構造を正確に把握しようとする。 b:二項対立の文章内から対立する要素を発表する。 c:二項対立の文章内から対立する要素を読み取り、同様の対立構造をもつものを挙げ、本文と同様の構造で評論文を書く。 d:文章中の指示語の内容を正確に読み取る。 e:ことばの意味を理解し、文章中の語彙を習得し、自分が使える語句の数を増やす。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント・感想文） 指名音読 定期考査
	短歌	「短歌」・「俳句」	○		○	○	○	a:短歌と俳句の特色を理解し、興味を持って親しもうとしている。 　短歌、俳句の表現内容と表現方法への理解を深めている。 c:各作品に詠まれている自然や人生を味わい、自分を取り巻く自然や生活を見つめ、自作の短歌を詠んでいる。 d:それぞれの作品の情景や季節感・世界観などを読み取っている。 　短歌・俳句の歴史・形態・形式を理解している。 e:それぞれの作品の用語・語法・修辞などについての理解を深めている。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査 漢字テキストの提出と小テスト

	自然に目を向けて	生きることと食べることの意味	○		○	○	○	a:文章の主張の中心となるキーワードを捉え、その意味を言葉で説明しようとしている。 c:本文中のキーワードの具体的内容や表現について、事例を挙げて自分の言葉で説明している。 d:本文中のキーワードや表現について、本文の内容に即して理解している。 e:文章中の重要語句の意味を理解し、それが筆者の主張とどのように結びついているのかを理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査 漢字テキストの提出と小テスト
	表現の窓8	本のPOPを作ろう	○	○	○		○	a:内容が伝わるように工夫して作品にしようとしている。 b:興味を持った本の内容やその魅力を的確な言葉とデザインを用いて表現しようとしている。 c:推薦する本の内容を精査し、見た人がその本に興味をもち、読みたいと思うようなＰＯＰになるよう工夫している。 e:様々な表現の工夫例について理解している。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（プリント）
	漢文のとびら	「訓読のきまり」「訓読に親しむ」	○				○	a:漢文に親しみを持つ。 e:訓読のきまり、書き下しの決まりを理解する	授業での行動観察 発問評価 指名音読 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査

	故事と史話	「故事〔守株・蛇足〕」（戦国策）	○			○	○	a：漢文に親しみを持つ。 d： 話の構成、展開を把握し、人物の心情を読み味わう。 e：訓読のきまり、書き下しの決まりを理解する	授業での行動観察 発問評価 指名音読 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査
	孔子のことば	「学問のすすめ」	○			○	○	a：漢文に親しみを持つ。 d：孔子が考える学習態度のありかたを読みとる。 e：訓読のきまり、書き下しの決まりを理解する	授業での行動観察 発問評価 暗唱 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査
	和歌と俳諧のしらべ	「奥の細道」	○			○	○	a：江戸時代の紀行文を読み、古文に親しむ。 d：作品における俳諧の役割を理解する。 e：部分的な口語訳ができるようにする。	授業での行動観察 発問評価 指名音読 記述の確認（ノート、プリント） 定期考査

		「百人一首」	○		○	○	○	a:和歌文化に親しむ。 c:和歌に詠まれた感情を読み取り、自分のイメージや感想を文章で書き表す。 d:好きな和歌を暗唱し、和歌の調べを体感する。 e:和歌の基本的な修辞法を理解する。	授業での行動観察 発問評価 指名音読 記述の確認(ノート、プリント) 定期考査
3学期	社会に生きる	何のために「働く」のか	○	○		○	○	a:評論文の構造を理解しようとしている。 b:「人はなぜ働くのか」を把握し、筆者がどのような考えを述べているか説明できる。 d:本文内容を理解し、「社会で働くこと」について理解する。 e:ことばの持つ抽象性を理解し、語句の意味を習得し、語彙を増やす。	授業での行動観察 発問評価 記述の確認（ノート・プリント） 指名音読 定期考査 漢字テキストの提出と小テスト
	軍記物語の響き	「平家物語(壇の浦の戦い)」				○		d.戦いの様子、教盛と知盛の人物像を読み取り、戦いが終わった後の情景について感想を持っている。	授業での行動観察 発問評価 群読 記述の確認(ノート、プリント) 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。